

旧約聖書(ルツ記)を読む

蔵谷 哲也

Exposition on the Book of Ruth

Tetsuya KURATANI

以下は2016年1月22日の四国大学古川キャンパスでなされたSUDAchi講座の話のパワーポイントスライドに解説を加えたものである。当日、スライドの印刷物を配布できなかったので、代わりにその内容をここで公開している。¹



この話は「愛のドラマ」であるとか、映画のストーリーにちょうどよいとか、あるいは、嫁は姑に仕えるべきであるという道徳の話に使われるかもしれない。しかし、聖書は神に関する書であり、人間が主人公である文学作品ではない。² 仮に人間が主人公であるとすれば、この話は単なる心温まるお話で終わるであろう。もしもそうであるなら、特にここで説明する必要もないだろう。

ルツ記は神の恵みの書である。神は異邦人であろうが、神の民であろうが、すべての人に恵みを与えている。それは地上で人間が生きていくことのできる恵みである。すなわち人が生きていくことができるような環境が提供されていることである。創世記を読むと、人が生きる環境がまず創造され、その後で、人間が創造された。例を挙げると、空気や水は、人間の生存のために不可欠であるが、まったく無償

で与えられている。当然ながら、人間が水や空気を作り出したのではない。人々は自分の力によって地上で生きているように思いがちだが、実は神の恵みによって地上で生かされている。そして、この書を読むとこの書は神の恵みの書であることが分かるだろう。なぜならば、救いは、神の民に与えられるだけではなく、神を求める異邦人にも与えられることが理解できるからである。ルツ記では、明示的に、「神が主要登場人物達にこうした、ああした」と記述されていない。しかし、人々の目に見えなくても、人々が気が付かなくても、人々の日常生活の中にも神が働いておられることを知るであろう。さらに聖書全体を読むことによって、神の恵みが持続的にあることを理解できると幸いである。ルツ記とは、ほかならぬ神の恵みの書である。

ルツ記のあらすじ

- ルツとナオミはベツレヘムに貧しいやもめとしてやってきた。しかし、彼女らはルツがボアズと結婚することを通して豊かになった。ルツはダビデ王の曾祖母(そうそぼ)になった。
- そうであっても、最大の祝福は金銭、結婚、子供ではない。ルツ、ボアズ、ナオミの間の愛と尊敬といった品位の高さである。
- そして、神様は、彼女に夫ボアズと子供を与え、ナオミには孫を与えるという形で二人を祝福した。この家系から、ダビデ王が出る。

ルツ記をおおまかに纏めると、上記の通り。

**聖書に登場する人物の一人としての
ルツとはどんな人**

- 全ての人は神の御前に罪人である（ローマ人への手紙3章23節）
 - ルツも神の御前では罪人
- ルツはダビデ王の曾祖母（そうそぼ: one's great-grandmother）
 - ルツの子はオベデ、オベデの子はエッサイ、エッサイの子はダビデを示す系図（ルツ記4章11節～22節）
 - 数世紀後、ルツとボアズは救い主イエス・キリストの先祖となった

ルツの多少の特徴を見たもの。

**神の未亡人、孤児、異邦人
に対する恵み**

- 2つの社会階級が示される:
 - やもめ（ルツ）と孤児（エステル）
- 神はやもめと孤児をかばう
 - [詩篇68編5節](#)
 - [詩篇146編9節](#)
- ルツはモアブ人（異邦人）
 - 神の恵みはユダヤ人のみに限定されない

ルツ記を通して、やもめや異邦人に対する神の恵みが示される。

**未亡人、孤児、異邦人
に対する神の恵み**

**ユダヤ人もギリシャ人もなく、
奴隷も自由人もなく、
男子も女子もありません。
なぜなら、あなたがたはみな、
キリスト・イエスにあって、一つだから
です。
(ガラテヤ人への手紙3章:28節)**

全ての人に神の恵みが開かれている

誰であっても、すべての人に神の恵みが開かれている。

詩篇68篇5節

**みなしごの父、やもめのさばき人は、
聖なる住まいにおられる神**

詩篇68篇5節は、やもめに対しての神の恵みがあることを示している。

詩篇146篇9節

**主は在留異国人を守り、
みなしごとやもめをささえられる。
しかし主は悪者の道を曲げられる。**

詩篇146篇9節は、孤児とやもめを神がかばうことを示す箇所である。

ルツ記
第一章

1:1 さばきつかさが世を治めているを、くに飢きんがあつたので、ひとりの人がその妻とふたりの男の子を連れてユダのベツレヘムを去り、モアブの地へ行ってそこに滞在した。

1:2 その人の名はエリメレク、妻の名はナオミ、ふたりの男の子の名はマロンとキリオンといい、ユダのベツレヘムのエフラタびとであつた。彼らはモアブの地へ行って、そこにあつたが、

1:3 ナオミの夫エリメレクは死んで、ナオミとふたりの男の子が残された。

1:4 ふたりの男の子はそれぞれモアブの女を妻に迎えた。そのひとり名はオルバといい、ひとり名はルツといた。彼らはそこに十年ほど住んでいたが、

1:5 マロンとキリオンのふたりもまた死んだ。こうしてナオミはふたりの子と夫とに先だたれた。

ルツ記は短い書物であり、4つの章と84節から成り立っている。それでは、ルツ記を声を出して、ともに朗読しよう。聖書では神がまず、神の預言者を

通して『イスラエルよ 聞け』と命じていることを教えている。自分の口で言葉に出して自分に語り、全身全霊を持って神の言葉を耳で聞くのである。聖書は、聞くに早く、語るに遅くせよと告げている。³ では何を聞くに早くするのかというと、神の御言葉を聞くに早くということである。つまり、説得力のある言葉を並び立て、自己表現をするよりも、聞くことの方がより重要である。そして、神の言葉を聞くために、聖書を音読することは有益である。目で読み、耳で聞くということから、よりよく内容を理解できると期待される。⁴ さらに、個人的体験であるが、黙読しても理解できないことが、耳で聞くと理解できることがある。

欧米の文学やドラマには聖書の節や聖書の背景が反映する内容が時々出てくる。そのような引用の手法を知ることよりも、聖書自体に親しむことが有益である。欧米文化を理解するために、聖書を読むのは本末転倒である。聖書自体が読むべき価値のある書である。

ただし、スライド上の1:1とは、1章1節という意味である。この部分は読む必要はない。⁵ この書で語られる出来事がどの時期に起こったかは明示的には告げられていないが、ルツ記の1章1節によれば、士師記の時代(紀元前1375-1050)の間のイスラエルの一家族の生活における出来事を叙述していると考えられる。ルツ記4章7節には昔のイスラエルの慣習について書かれており、その慣習は、いわゆるモーセ五書のひとつである申命記25章7節と9節に記載されている。この慣習をわざわざ説明してある理由は、申命記が紀元前1400年頃、書かれたとすると、その後の士師記の時代は、多くの人々が自分勝手に振る舞っていたので、この慣習がルツ記の時代には、あまり実行されていなかったの、人々の記憶からは薄れていたせいだと思える。⁶

1節:さばきつかさ(士師)が世をおさめているころ、ルツの物語が起こった。その時代は、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていたのである。その中で、神を愛し、神を讃える敬虔な残りの者がいた。この書では、そのような者の生活を通して神が活発に働かれることを強調している。⁷

この節には飢きんがあったことが記載されているが、士師記には飢きんの記載がない。

1節の「モアブの地に行つて、そこに滞在した」と書かれている。この「滞在する」に相当するヘブライ語には多くの意味がある。その中でも、この根源的な動詞とは、血縁関係ではない人々の間に住むという基本的な意味がある。⁸ さらにここ1節での飢きんは、罪の当然な副産物であった。というのは、主は申命記25章15, 16, 23, 24, 38~40節で、主に忠実に従わないなら、すべてののろいがあなたに臨み、あなたは呪われると警告している。この警告にエリメレク一家は従わなかったように見える。モアブの地に行つて滞在することは、神の導きではなく、エリメレク自身による選択であったようだ。移住後のエリメレクの死(3節)やマロンとキリオンの死(5節)から、モアブの地に移住することは神に対する不従順な行為であったように見える。イスラエルの土地は神がイスラエルに恵みで与えた土地であったが、その土地を離れて、モアブの地に行くということは神を信頼することよりも、どちらかと言えば、モアブ人を信頼したのである。食べ物をもアブ人間で求めた。肉体のための食料を彼らは入手できたであろうが、霊のためにはどんな食物を彼らは受け取ったのであろうか。飢きんの鞭から彼らは逃れたが、彼らは死の鞭に遭遇した。この状況は今も昔も変わらない。飲酒によって問題を覆い隠すことを求め、世俗的な娯楽や快楽、全ての種類の放蕩に逃げ込み、問題の鞭を忘れようと努力し、無益にも、問題の鞭から逃げようと試みている人たちがどれだけ多いことよ。我々が世界から神御自身に引き寄せられるために、問題の鞭を神が憐みの中で人々に送り付けたかもしれないのである。⁹ 結果的には、エリメレクは家長として、家族の面倒を見るという配慮は、非難されるものではないが、モアブ人の地に移住したことは、正当化することができないものではなかった。

2節のエフラタびと(Ephrahite)とは、エフラタの初期の住人の子孫である貴族階級の市民のことかもしれない。¹⁰ エフラタとはベツレヘム周辺の地域の名称であった。¹¹

3節のエリメレクの死とは、最初の警告であったと思う。しかし、この警告は見過ごされたのであるか。

さらにここに記述されるような飢きんはギデオンの時代に起こったかもしれない。この飢きんは凶作によるものではなく、外国による食糧の略奪による飢きんであった。¹²

1章4節で「2人の男の子はそれぞれモアブの女を妻に迎えた」とある。モアブ人との結婚は禁じられていなかった。ただし、厳格な制約がそのモアブ人とその結婚から生まれた子供たちに対して課せられた。モアブ人と、その十代目の子孫さえ、決して主の集会にはいることができないという制約である。¹³ 申命記7章1～3節によると、カナンにおける7つの異邦の民との結婚を禁じている。異邦の民とは、ヘテ人、ギルガシ人、エモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人である。こうした異邦の民との結婚が禁じられている理由は、申命記7章4節にある。こうした結婚を通じて、異邦の神々を拝むという偶像礼拝が起こるからである。¹⁴

しかしながら、墮落した神の民よりも、真の霊的な高潔さの一例として神が用いられたのはモアブ人のルツであった。神の選ばれた民として、イスラエルは、他の国々に対して、倫理的に高い基準の生き方を示すべきだった。当時、イスラエルにおいては、生活がいかに荒涼としたものであったかがルツの例を通して、間接的に示されている。

5節では、1回目の警告ではエリメレクの死であったが、10年後の警告というより、その強度が二倍の裁きが起こったと言える。すなわち、マロンとキリオンの死であった。このことによって、ナオミとルツは、本当に低くされ、無力な状態になった。換言すれば、ナオミとルツは偶像礼拝の只中に取り残されている状態だった。

1章1～5節で、必要な背景説明（時間、場所、葛藤の原因）を与え、後に続く状況のお膳立てをしている。

聖書は旧約聖書39冊、新約聖書27冊、合計66冊あり、ルツ記はその中の旧約聖書の中の1冊であり、聖書全体の中でのその位置付けを後に行う。聖書と

いう用語はギリシャ語の *biblia*（意味は複数の本）から派生したものである。聖書とは複数の本の集合体であり、権威があり、神の御言葉である。¹⁵ 聖書66冊を通読し、内容を解釈するとき、聖書66冊を使って解釈していく必要がある。

1.6 その時、ナオミはモアブの地で、主がその民を顧みて、すでに食物をお与えになっていることを聞いたので、その嫁と共に立ち、モアブの地からふるさとへ帰ろうとした。
 1.7 そこで彼女は今の所を出立し、ユダの地へ帰ろうと、ふたりの嫁を連れて道に進んだ。
 1.8 しかしナオミはふたりの嫁に言った、「あなたもあなた自身が自分の母の家に帰って行きなさい。あなたがたが、死んだふたりの子とわたしに親切をつくしたように、どうぞ、主があなたがたに、いっしょに帰るつもりです。」
 1.9 どうも、主があなたがたに夫を与え、夫の家で、それぞれ身の落ち着き所を得させられるように。こう言って、ふたりの嫁に口づけしたので、彼らは声をあげて泣き、
 1.10 ナオミに言った、「いいえ、わたしたちは一緒にあなたの民のところに帰ります。」

1章6節では「主がその民を顧みて、すでに食物をお与えになっている」と書かれている。1章1節で飢きんがあったことが告げられた。つまり人間が逆境におかれたが、それは神の贖いという大目的を促進するためのきっかけであったに過ぎない。¹⁶ さらに6節は、神の民は逆境の中にあっても、神がその民を顧みて下さるといふ希望の注意書きのように見える。

聖書には飢きんの記述が数か所あり、人の移住を促している。¹⁷ アブラハムは飢きんのため、一時的にエジプトに下って行った。また、アブラハムの孫ヤコブ（イスラエル）は、飢きんを逃れるためにエジプトのヨセフのもとに行った。飢きんの役割とは移住促進のみならず、人はパンのみならず、神の御言葉によって生きることを神の民に理解させるために、起こったこともあった（申命記8章3節）。¹⁸

8節の主とはヤーウエー（Yahweh）と翻訳される。¹⁹ モアブ人の神であるケモシュ（Chemosh）という用語をナオミは選択して使っていない。²⁰ この用語の選択はナオミの人生と思想を特徴付ける敬虔さの重要な指標である。

8節の興味深いところは、ナオミの義理の娘たちに対するアドバイスの内容である。これら2人のモアブ人たちに、モアブ人の国に帰って、身の落ち着

ナオミには悲しみがあるが、神をこのように呼ぶことにより、ナオミの生涯の上に神の主権があることを承認しているようである。²⁵

21節のナオミの発言は、興味深い。概して人間の性質とは、自分の上に艱難が起こると、罵ったり、誰かのせいにしがちであろう。ここでは、「全能者つまり神が災いをくださった」と発言しているが、この艱難は自分の罪の性質や個人的選択の結果であるかもしれない。

22節で「大麦刈の初めに、ベツレヘムに着いた」と書かれている。ベツレヘムとはパンの家という意味がある。かれらは大麦収穫が始まる時に、ちょうどよいタイミングで到着した。大麦の刈り取りの前であったら、彼らは食物が無かったかもしれない。それより後だったら、全部収穫が終わって、落穂拾いによって食物を得られたかどうか、定かではなかったからだ。「大麦刈の初めにベツレヘム（パンの家）に着いた」とは、神の救いを象徴している。それは真のベツレヘムであり、命のパンであるイエス・キリストのところに行くことである。

イスラエルの天候はかなり温暖なので、毎年2回すなわち、春と秋の収穫がある。大麦刈は春になされたので、ルツとナオミがベツレヘムに戻ってきたのは、他ならぬ希望と豊饒のこの時期であった。

ルツとナオミがベツレヘムに戻ってきたことは神の計画の確かな一部分であった。なぜなら、ベツレヘムでダビデ王が生まれ、ミカが預言したように、イエス・キリストもここで誕生されたからである。ルツとナオミのこの移住は単に彼らにとって都合のよい移住以上のものであった。つまり、聖書の御言葉の成就を導いたのである。²⁶

「モアブの女ルツ」という用語がルツ記で数回使われている（2章2節と21節、4章5節と10節）。こうすることによって、ルツは蔑まれた民族からやってきた外国人であることを我々は気付かされる。しかも2章の10節ではルツは自分のことを「わたしのような外国人」と呼んでいる。²⁷

第二章
2.1 さてナオミには、夫エリメレクの一族で、非常に裕福なひとりの親戚があつて、その名をボアズと云つた。2.2 モアブの女ルツはナオミに言つた、「どうぞ、わたしを畑に行かせてください。だれか親切な人が見当るならば、わたしはその方のあとについて落ち穂を拾います。ナオミが彼女に「娘よ、行きなさい」と言つたので、2.3 ルツは行つて、刈る人たちのあとに従ひ、畑で落ち穂を拾つたが、彼女ははからずエリメレクの一族であるボアズの畑の部分にきた。2.4 その時ボアズは、ベツレヘムからきて、刈る者どもに言つた、「主があなたがたと共におられますように。」彼は答へた、「主があなたを祝福されますように。」
2.5 ボアズは刈る人たちを監督しているしもに言つた、「これはだれの畑ですか。」
2.6 刈る人たちは監督しているしもへ答へた、「それはモアブの女で、モアブの地からナオミと一緒に帰つてきたのですが、わたしに、刈る人たちのあとについて、束のあいだで、落ち穂を拾ひ集めさせてください。」と言ひました。そして彼女は朝早くきて、今まで働いて、少しのあいだも休みませんでした。」

1 節：エリメレクの親戚はナオミとナオミの夫によく知られていた。ナオミはエリメレクの妻であったので、ボアズはゴーエルになる資格があった。²⁸ それゆえ、ナオミの夫の遺産の事柄に関してボアズの援助を求めることができた。

2 節：刈入人が残した穀物を拾う貧しい人々の権利はモーセの法で保証されていた。²⁹ この法はイスラエルにおける一種の福祉制度として役立っていた。穀物の刈入をする時に、穀物を畑に残し、貧しい人々が拾うことができるようにしておくこと、神による祝福がある。³⁰ また、ルツは謙遜な人であることが分かる。落穂拾いをするを自分自身の提案として、それをするための暇乞いを見込んで謙って語っている。そして、ルツには信仰があった。つまり、「だれか親切な人が見当たるならば、その方のあとについて落ち穂を拾います」と言うのだ。社会的弱者にとっては危険でありうる落ち穂拾いであっても、その中には親切な人がいるという信仰を持っていたと言える。モーセの法の規定があつても、実際はそうではないことがルツ記2章から分かる。落穂拾いに関して、9 節には邪魔者扱い、15 節ではとがめ、22 節ではいじめがあることが容易に読み取れる。

3 節：「彼女ははからずもエリメレクの一族であるボアズの畑の部分にきた」ということだが、偶然そこに辿り着いたのではない。ナオミは恵み深い神の摂理を通してこのことが起こったことを後で認識している（20節）。³¹

4 節：「主があなたがたと共におられますように」

や「主があなたを祝福されますように」といった祝福の挨拶の言葉は、士師記の時代のような、背教の時期においてさえも、日常会話の中で、イスラエルの神をほめたたえる人々がいたことを示唆している。³² ボアズのこのような祝福の挨拶やルツやナオミに対する世話話、ボアズが主を信じる義人であることを示している。

5と6節：ルツの国民的背景まで言及し、モアブの女（1章22節、2章2,21節、4章5,10節）と呼ばれていることは、神がこの異邦人の女を神自身の民に、そして最終的には、王家の家系に統合したことを強調している。³³

7節：「朝早く来て、今まで働いて、少しのあいだも休まなかった」ことから、ルツは勤勉であることが分かる。本人の証言ではなく、刈る人たちの監督の証言であるから、まさに勤勉であったことは間違いない。

2.8 ボアズはルツに言った、「娘よ、お聞きなさい。ほかの畑に種を拾いに行つてはいけません。またこを去つてはなりません。わたしのところで働く女たちを離れないで、ここにいなさい。」
 2.9 人々が刈りどしている畑に目をとめて、そのあつたついで行きなさい。わたしは若者たちに命じ、あなたのじやまではないように、言つておいたにはありませんか。あなたがかわく時には水がめのとへへ行って、若者たちのくんだの飲みなさい。」
 2.10 彼女は地に伏して拝し、彼に言った、「どうしてあなたはわたしのような外国人を顧みて、親切にしてくださるのですか。」
 2.11 ボアズは答えて彼女に言った、「あなたの夫が死んでこのかた、あなたがしゅうめにつくしたと、また自分の父母と生れた国を離れて、かつて知らなかつた民のところにきたとは皆わたしに聞えませう。」
 2.12 どうぞ、主があなたの上に覆られるように、どうぞ、イスラエルの神、主、すなわちあなたがその翼の下に身を寄せようとしてきた主がしゅうめつふんの報いを得られるように。」
 2.13 彼女は言った、「わが主よ、まことにありがとうございます。わたしはあなたのためひとりにも及ばないのに、あなたはこんなわたしを顧み、はしのためにねごに語られました。」

8節：予期しなかつたことはボアズの恵み深き挨拶の言葉である。この口語訳聖書では「娘よ」と訳されているが、欽定訳聖書では「私の娘よ」と訳されている。そしてここにとどまりなさいと言う。この親切な行為とルツを受け入れることと共に、9節で忠告が与えられている。ついでながら、ルツのことを娘と呼ぶことは、ボアズとの年齢差があることを示している。

9節：落ち穂拾いは、イスラエル国内で貧しい者や在留異国人に許された生活の手段であるが、同時に危険であった。なぜなら律法がなごりにされていたこの時代のイスラエルでは、落ち穂拾いをする窮

者に対する邪魔やいじめがなされていたからである。ボアズは邪魔やいじめをしないようにルツを守り、喉が渴いたら、水を飲みなさいと告げている。このようなボアズの言葉を、自分ではどうすることもできないモアブ人のやもめルツはどれだけ予期できたであろうか。

10節：ルツの心は、そのような迎え入れに、心砕かれたのである。それゆえ、地に伏して拝したのである。

11と12節：イスラエルにやってくるという中でのルツの動機に対するボアズの敬意の中に、何をボアズが霊的に優先順位を付けるかが示されている。それは、ルツのナオミに対する優しいたわりと、ルツのイスラエルの神、主に対する信頼の両方である。

12節：士師記の時代における大いなる背教の真中であつてさえも、誠実に主である神を信じ、信仰を持って主を求める人々を、神は見守っていた。

13節：困難に直面する中であつて、ルツが見出したボアズのいたわりに対する感謝の念が表されている。

2.14 食事の時、ボアズは彼女に言った、「こへきてパンを食へ、あなたの食べる物を許に浸しなさい。」
 2.15 そして彼女がまた種を拾おうと立ちあがつたとき、ボアズは若者たちに命じて言った、「彼女には束の間でも種を拾わせなさい」とがめてはならない。
 2.16 また彼女のために束からわざと抜き落して置いて拾わせなさい。しかつてはならない。」
 2.17 こうして彼女は夕暮まで畑で落ち穂を拾つた。そして拾つた種を打つと、大麦は一エバほであつた。
 2.18 彼女はそれを携えて、町にはいり、しゅうとめにその拾つたものを見せ、かつ食へ飽きて、残して持ちかえつたものを取り出して与へた。
 2.19 しゅうとめは彼女に言った、「あなたは、きょう、どこで種を拾いましたか。どこで働きましたか。あなたをそのように顧みてくださったか。どうか祝福があるように。」そこで彼女は自分がだれの所で働いたかを、しゅうとめに告げて、「わたしが、きょう働いたのはボアズという名の人の所です」と言つた。

14節：刈る人々と共に座つて食事をするようにボアズはルツを招いている。これは通常、落穂拾いをする人々が享受できない特権であつた。³⁴

15と16節：刈入人が残した穀物を拾う貧しい人々の権利はモーセの法で保証されていたが、ボアズはその法が意図する以上のことを行い、おもいやりと寛大さを示した。イスラエルの民は神によって社会の中であまり恵まれていない人々の面倒をみるように命じられていた。この命令に従う人もいたし、従わ

ない人もいた。

15～17節：落ち穂拾いにおいてルツが特別な特権を持つことができるようにボアズがルツに良くしてくれたので、ルツは数日分の食料を集めることができました。ルツの労働が十分に報われることを確かなものにするためにボアズは若者たちに命じて、法の要求事項以上のことをした。

17節：1エバは約23リットル。

19節：大麦1エバの収穫量を見て、ルツが誰かから親切な行為を受け取ったことが認識されたので、ナオミはそれが誰であるかを知りたかった。

20 ナオミは嫁に言った、「生きている者をも、死んだ者をも顧みて、いつくしみを賜われる主が、どうぞその人を祝福されませうように」。ナオミはまた彼女に言った、「その人はわたしたちの縁者で、最も近い親戚のひとりです。」
21 モアブの女は言った、「その人はまたわたしに、あなたをわたしのとろの別入れが全部終るまで、わたしのしもべたちをそばにつけていなさい」と言いました。
22 ナオミは嫁ルツに言った、「嫁よ、その人のとろで働く女たちと一緒に出かけるのははげしくつです。そうすればほかの畑で人にいじめられるのを免れるでしょう。」
23 それで彼女はボアズのとろで働く女たちをそばにつけていて穂を拾い、大麦刈と小麦刈の終るまでそうした。こうして彼女はしゅうとめと二種に暮した。

20節：ナオミは神が彼女を見捨てたのではないことと、彼女に対する神の愛と慈しみが実際に継続していることを理解し始めた。それはボアズの名前をルツから聞いたことから始まった。ナオミの喜びと驚きはどれだけ大きかったであろうか。最も近い親戚のひとりであるボアズは、ボアズの親戚の必要（先祖から譲り受けた土地を買い戻し、絶えんとする家系を残すこと）を提供するようにモーセの法によって求められていた。そして、そのことが出来るボアズとの出会いは、彼女たちにとって望みの光をもたらすものであった。

23節：「大麦刈と小麦刈の終わるまで」という表現は、収穫のエピソードを締め括り、打ち場における次の主要場面の準備をしている。

第三章

3:1 時にしゅうとめナオミは彼女に言った、「娘よ、わたしはあなたの落ち着き所を求めて、あなたを連れあわせにすべきではないでしょうか。」
3:2 あなたと一緒に働いた女たちの主人ボアズはわたしたちの親戚ではありません。彼は今夜、打ち場で大麦をおおぎ分けます。
3:3 それであなたは身を洗って油をぬり、晴れ着をまとうて打ち場に下つて行きなさい。ただ、あなたはその人が飲み食いを終るまで、その人に知られてはなりません。
3:4 そしてその人が寝る時、その寝る場所を見定め、はいて行って、その足の所をまくって、そこに寝なさい。彼はあなたのすべきことを知らせるでしょう。」
3:5 ルツはしゅうとめに言った、「あなたのおつしやることを皆いたしましよ。」

1節：ルツとナオミは、やもめであるから、かつては困難な状況しか期待することができなかったのであるが、ボアズがゴーエルの責任をルツに対して取ってくれることを期待し始めた。

2節：「今夜、打ち場で大麦をおおぎ分ける」：脱穀の時期においては、穀物を盗難から守るために、地主は打ち場のそばで夜を過ごす習慣があった。³⁵

3節：ルツは花嫁として準備するようにナオミに指示された。通常、婦人たちは、脱穀する人達の酒盛りに参加しなかった。「飲み食い」：収穫は祝祭の時期であった。³⁶

4節：「その足の所をまくって、そこに寝る」：このルツの行動は結婚の申し込みであった。

5節：「あなたのおつしやることを皆いたしましよ」：このナオミに対する謙遜と従順は、イエスの母であるマリアの、御使いに対する謙りと従順な返事を思い起こさせる（ルカの福音書1章38節）。

3:6 こうして彼女は打ち場に下り、すべてしゅうとめが命じたとおりにした。
3:7 ボアズは飲み食いして、心をたのしませたあとで、麦を積んである場所のかわらに行つて寝た。そこで彼女はひそかに行き、ボアズの足の所をまくって、そこに寝た。
3:8 夜中になつて、その人は起き、起きがえつて見ると、ひとりや二人の女が足のとろに寝ていたので、彼女は答えた、「わたしはあなたはだれですか」と言つた。彼女は答えた、「わたしはあなたのはしためルツです。あなたのすそで、はしためをおおつて下さい。あなたは最も近い親戚です。」
3:9 ボアズは言った、「娘よ、どうぞ、主があなたを祝福されるように、あなたは貧富にかかわらず若い人に従ひ行つてはせす。あなたが最後に示した親戚は、さきに示した親戚にまさつています。」
3:10 それで、娘よ、あなたは恐るにおよびませぬ。あなたが求めることは皆、あなたのためにいしましよ。わたしの町の人々は皆、あなたがらば女であることを知っているからです。
3:11 たしかにわたしは近い親戚ではありませんが、わたしよりも、もつと近い親戚があります。
3:12 今夜はここにどまりなさい。朝になつても、もつと人があなたのために親戚の義務をくすならば、よろしい、その人にさせなさい。しかし私は生きておらず、その人が、あなたのために親戚の義務をつくことを好まないならば、わたしはおやすみなさい。」

7節：「ボアズは麦を積んである場所のかたわらへ行って寝た」と書かれている。その場所でルツがボアズに密かに会うことのできる場所であった。このような場と機会が神の摂理によって備えられている。

9節：エゼキエル書16章8節で、「すそで、はしためをおおう」という意味が理解できる。「わたしは再びあなたのかたわらをとおって、あなたを見たが、見よ、あなたは愛せられる年齢に達していたので、わたしは着物のすそであなたをおおい、あなたの裸をかくし、そしてあなたに誓い、あなたと契約を結んだ。そしてあなたはわたしのものとなったと、主なる神は言われる。」女性を自分の着物でおおうということは、婚姻関係を開始することを象徴している。

10節：「先に示した親切」とは、ナオミに付き添うという選択をしたことであり、「最後に示したこの親切」とは、9節の「あなたは最も近い親戚です」と述べることによって、近い親戚の義務を思い起こさせたことと、若い人に従い行くことを断ったことである。つまりこうした「親切」とは、ナオミに後継者(つまりエリメレクの子孫)を与える慣習に従うことの提案であった。³⁷

11節：「りっぱな女」とは大富豪の男と翻訳されるヘブライ語の女性形である。ルツはモアブ人で召使いの立場から始まり、今や結婚相手としてボアズにとって魅力的な女性になっている状況がここで伺える。2章の5～7, 11節で、ボアズはルツのことをすでに尋ねており、町の人たちの評判以上の情報を得ている。

12～13節：ボアズは、自分が最も近い親戚ではないことを明らかにしている。そうであっても、最も近い親戚が義務を尽くさない場合は、ボアズがそれを行うことを明らかにしている。「主は生きておられます」と述べ、ボアズは宣言して、誓約している。

3.14 ルツは朝まで彼の足のところに寝たが、だれか
れの足分け難い上に起きあがった。それはボアズ
がこの女の打ち場にきたことが人に知られてはな
らないと言ったからである。
3.15 そしてボアズは言った、「あなたの着る外套を
持つてきて、それを広げなさい」。彼女がそれを広げ
ると、ボアズは大妻オメルをはかって彼女に負わ
せた。彼女は町に帰り、
3.16 しゅうとめのところへ行くとしゅうとめは
言った、「娘よ、どうしたか。そこでルツはその人
が彼女にしたことをこく告げて、
3.17 言った、「あのかたはわたしに向かつて、から手
でしゅうとめのところへ帰つてはならないと言て、
この大妻オメルをわたしにくださいました。
3.18 しゅうとめは言った、「娘よ、この事がどうなる
かわかるまでお待ちなさい。あの人は、きょう、そ
の事を決定しなければ落ち着かないでしょう。」

14節：「この女の打ち場にきたことが人に知られてはならない」ということは、あらぬ疑いを人に持たれてはならないという配慮ではないだろうか。ホセア書9章1節では、麦打ち場とは、性的不品行が日常行われる場として言及されている。

15節：ルツは外套を着ていた。つまり、晴れ着姿が知られないように打ち場に來ていた。

第四章
4.1 ボアズは町の門のそばを歩いている。そこにボアズが来た。彼はモアブの娘である。ボアズは
その人を見た。2.20-21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.101.102.103.104.105.106.107.108.109.110.111.112.113.114.115.116.117.118.119.120.121.122.123.124.125.126.127.128.129.130.131.132.133.134.135.136.137.138.139.140.141.142.143.144.145.146.147.148.149.150.151.152.153.154.155.156.157.158.159.160.161.162.163.164.165.166.167.168.169.170.171.172.173.174.175.176.177.178.179.180.181.182.183.184.185.186.187.188.189.190.191.192.193.194.195.196.197.198.199.200.201.202.203.204.205.206.207.208.209.210.211.212.213.214.215.216.217.218.219.220.221.222.223.224.225.226.227.228.229.230.231.232.233.234.235.236.237.238.239.240.241.242.243.244.245.246.247.248.249.250.251.252.253.254.255.256.257.258.259.260.261.262.263.264.265.266.267.268.269.270.271.272.273.274.275.276.277.278.279.280.281.282.283.284.285.286.287.288.289.290.291.292.293.294.295.296.297.298.299.300.301.302.303.304.305.306.307.308.309.310.311.312.313.314.315.316.317.318.319.320.321.322.323.324.325.326.327.328.329.330.331.332.333.334.335.336.337.338.339.340.341.342.343.344.345.346.347.348.349.350.351.352.353.354.355.356.357.358.359.360.361.362.363.364.365.366.367.368.369.370.371.372.373.374.375.376.377.378.379.380.381.382.383.384.385.386.387.388.389.390.391.392.393.394.395.396.397.398.399.400.401.402.403.404.405.406.407.408.409.410.411.412.413.414.415.416.417.418.419.420.421.422.423.424.425.426.427.428.429.430.431.432.433.434.435.436.437.438.439.440.441.442.443.444.445.446.447.448.449.450.451.452.453.454.455.456.457.458.459.460.461.462.463.464.465.466.467.468.469.470.471.472.473.474.475.476.477.478.479.480.481.482.483.484.485.486.487.488.489.490.491.492.493.494.495.496.497.498.499.500.501.502.503.504.505.506.507.508.509.510.511.512.513.514.515.516.517.518.519.520.521.522.523.524.525.526.527.528.529.530.531.532.533.534.535.536.537.538.539.540.541.542.543.544.545.546.547.548.549.550.551.552.553.554.555.556.557.558.559.560.561.562.563.564.565.566.567.568.569.570.571.572.573.574.575.576.577.578.579.580.581.582.583.584.585.586.587.588.589.590.591.592.593.594.595.596.597.598.599.600.601.602.603.604.605.606.607.608.609.610.611.612.613.614.615.616.617.618.619.620.621.622.623.624.625.626.627.628.629.630.631.632.633.634.635.636.637.638.639.640.641.642.643.644.645.646.647.648.649.650.651.652.653.654.655.656.657.658.659.660.661.662.663.664.665.666.667.668.669.670.671.672.673.674.675.676.677.678.679.680.681.682.683.684.685.686.687.688.689.690.691.692.693.694.695.696.697.698.699.700.701.702.703.704.705.706.707.708.709.710.711.712.713.714.715.716.717.718.719.720.721.722.723.724.725.726.727.728.729.730.731.732.733.734.735.736.737.738.739.740.741.742.743.744.745.746.747.748.749.750.751.752.753.754.755.756.757.758.759.760.761.762.763.764.765.766.767.768.769.770.771.772.773.774.775.776.777.778.779.780.781.782.783.784.785.786.787.788.789.790.791.792.793.794.795.796.797.798.799.800.801.802.803.804.805.806.807.808.809.810.811.812.813.814.815.816.817.818.819.820.821.822.823.824.825.826.827.828.829.830.831.832.833.834.835.836.837.838.839.840.841.842.843.844.845.846.847.848.849.850.851.852.853.854.855.856.857.858.859.860.861.862.863.864.865.866.867.868.869.870.871.872.873.874.875.876.877.878.879.880.881.882.883.884.885.886.887.888.889.890.891.892.893.894.895.896.897.898.899.900.901.902.903.904.905.906.907.908.909.910.911.912.913.914.915.916.917.918.919.920.921.922.923.924.925.926.927.928.929.930.931.932.933.934.935.936.937.938.939.940.941.942.943.944.945.946.947.948.949.950.951.952.953.954.955.956.957.958.959.960.961.962.963.964.965.966.967.968.969.970.971.972.973.974.975.976.977.978.979.980.981.982.983.984.985.986.987.988.989.990.991.992.993.994.995.996.997.998.999.1000.1001.1002.1003.1004.1005.1006.1007.1008.1009.1010.1011.1012.1013.1014.1015.1016.1017.1018.1019.1020.1021.1022.1023.1024.1025.1026.1027.1028.1029.1030.1031.1032.1033.1034.1035.1036.1037.1038.1039.1040.1041.1042.1043.1044.1045.1046.1047.1048.1049.1050.1051.1052.1053.1054.1055.1056.1057.1058.1059.1060.1061.1062.1063.1064.1065.1066.1067.1068.1069.1070.1071.1072.1073.1074.1075.1076.1077.1078.1079.1080.1081.1082.1083.1084.1085.1086.1087.1088.1089.1090.1091.1092.1093.1094.1095.1096.1097.1098.1099.1100.1101.1102.1103.1104.1105.1106.1107.1108.1109.1110.1111.1112.1113.1114.1115.1116.1117.1118.1119.1120.1121.1122.1123.1124.1125.1126.1127.1128.1129.1130.1131.1132.1133.1134.1135.1136.1137.1138.1139.1140.1141.1142.1143.1144.1145.1146.1147.1148.1149.1150.1151.1152.1153.1154.1155.1156.1157.1158.1159.1160.1161.1162.1163.1164.1165.1166.1167.1168.1169.1170.1171.1172.1173.1174.1175.1176.1177.1178.1179.1180.1181.1182.1183.1184.1185.1186.1187.1188.1189.1190.1191.1192.1193.1194.1195.1196.1197.1198.1199.1200.1201.1202.1203.1204.1205.1206.1207.1208.1209.1210.1211.1212.1213.1214.1215.1216.1217.1218.1219.1220.1221.1222.1223.1224.1225.1226.1227.1228.1229.1230.1231.1232.1233.1234.1235.1236.1237.1238.1239.1240.1241.1242.1243.1244.1245.1246.1247.1248.1249.1250.1251.1252.1253.1254.1255.1256.1257.1258.1259.1260.1261.1262.1263.1264.1265.1266.1267.1268.1269.1270.1271.1272.1273.1274.1275.1276.1277.1278.1279.1280.1281.1282.1283.1284.1285.1286.1287.1288.1289.1290.1291.1292.1293.1294.1295.1296.1297.1298.1299.1300.1301.1302.1303.1304.1305.1306.1307.1308.1309.1310.1311.1312.1313.1314.1315.1316.1317.1318.1319.1320.1321.1322.1323.1324.1325.1326.1327.1328.1329.1330.1331.1332.1333.1334.1335.1336.1337.1338.1339.1340.1341.1342.1343.1344.1345.1346.1347.1348.1349.1350.1351.1352.1353.1354.1355.1356.1357.1358.1359.1360.1361.1362.1363.1364.1365.1366.1367.1368.1369.1370.1371.1372.1373.1374.1375.1376.1377.1378.1379.1380.1381.1382.1383.1384.1385.1386.1387.1388.1389.1390.1391.1392.1393.1394.1395.1396.1397.1398.1399.1400.1401.1402.1403.1404.1405.1406.1407.1408.1409.1410.1411.1412.1413.1414.1415.1416.1417.1418.1419.1420.1421.1422.1423.1424.1425.1426.1427.1428.1429.1430.1431.1432.1433.1434.1435.1436.1437.1438.1439.1440.1441.1442.1443.1444.1445.1446.1447.1448.1449.1450.1451.1452.1453.1454.1455.1456.1457.1458.1459.1460.1461.1462.1463.1464.1465.1466.1467.1468.1469.1470.1471.1472.1473.1474.1475.1476.1477.1478.1479.1480.1481.1482.1483.1484.1485.1486.1487.1488.1489.1490.1491.1492.1493.1494.1495.1496.1497.1498.1499.1500.1501.1502.1503.1504.1505.1506.1507.1508.1509.1510.1511.1512.1513.1514.1515.1516.1517.1518.1519.1520.1521.1522.1523.1524.1525.1526.1527.1528.1529.1530.1531.1532.1533.1534.1535.1536.1537.1538.1539.1540.1541.1542.1543.1544.1545.1546.1547.1548.1549.1550.1551.1552.1553.1554.1555.1556.1557.1558.1559.1560.1561.1562.1563.1564.1565.1566.1567.1568.1569.1570.1571.1572.1573.1574.1575.1576.1577.1578.1579.1580.1581.1582.1583.1584.1585.1586.1587.1588.1589.1590.1591.1592.1593.1594.1595.1596.1597.1598.1599.1600.1601.1602.1603.1604.1605.1606.1607.1608.1609.1610.1611.1612.1613.1614.1615.1616.1617.1618.1619.1620.1621.1622.1623.1624.1625.1626.1627.1628.1629.1630.1631.1632.1633.1634.1635.1636.1637.1638.1639.1640.1641.1642.1643.1644.1645.1646.1647.1648.1649.1650.1651.1652.1653.1654.1655.1656.1657.1658.1659.1660.1661.1662.1663.1664.1665.1666.1667.1668.1669.1670.1671.1672.1673.1674.1675.1676.1677.1678.1679.1680.1681.1682.1683.1684.1685.1686.1687.1688.1689.1690.1691.1692.1693.1694.1695.1696.1697.1698.1699.1700.1701.1702.1703.1704.1705.1706.1707.1708.1709.1710.1711.1712.1713.1714.1715.1716.1717.1718.1719.1720.1721.1722.1723.1724.1725.1726.1727.1728.1729.1730.1731.1732.1733.1734.1735.1736.1737.1738.1739.1740.1741.1742.1743.1744.1745.1746.1747.1748.1749.1750.1751.1752.1753.1754.1755.1756.1757.1758.1759.1760.1761.1762.1763.1764.1765.1766.1767.1768.1769.1770.1771.1772.1773.1774.1775.1776.1777.1778.1779.1780.1781.1782.1783.1784.1785.1786.1787.1788.1789.1790.1791.1792.1793.1794.1795.1796.1797.1798.1799.1800.1801.1802.1803.1804.1805.1806.1807.1808.1809.1810.1811.1812.1813.1814.1815.1816.1817.1818.1819.1820.1821.1822.1823.1824.1825.1826.1827.1828.1829.1830.1831.1832.1833.1834.1835.1836.1837.1838.1839.1840.1841.1842.1843.1844.1845.1846.1847.1848.1849.1850.1851.1852.1853.1854.1855.1856.1857.1858.1859.1860.1861.1862.1863.1864.1865.1866.1867.1868.1869.1870.1871.1872.1873.1874.1875.1876.1877.1878.1879.1880.1881.1882.1883.1884.1885.1886.1887.1888.1889.1890.1891.1892.1893.1894.1895.1896.1897.1898.1899.1900.1901.1902.1903.1904.1905.1906.1907.1908.1909.1910.1911.1912.1913.1914.1915.1916.1917.1918.1919.1920.1921.1922.1923.1924.1925.1926.1927.1928.1929.1930.1931.1932.1933.1934.1935.1936.1937.1938.1939.1940.1941.1942.1943.1944.1945.1946.1947.1948.1949.1950.1951.1952.1953.1954.1955.1956.1957.1958.1959.1960.1961.1962.1963.1964.1965.1966.1967.1968.1969.1970.1971.1972.1973.1974.1975.1976.1977.1978.1979.1980.1981.1982.1983.1984.1985.1986.1987.1988.1989.1990.1991.1992.1993.1994.1995.1996.1997.1998.1999.2000.2001.2002.2003.2004.2005.2006.2007.2008.2009.2010.2011.2012.2013.2014.2015.2016.2017.2018.2019.2020.2021.2022.2023.2024.2025.2026.2027.2028.2029.2030.2031.2032.2033.2034.2035.2036.2037.2038.2039.2040.2041.2042.2043.2044.2045.2046.2047.2048.2049.2050.2051.2052.2053.2054.2055.2056.2057.2058.2059.2060.2061.2062.2063.2064.2065.2066.2067.2068.2069.2070.2071.2072.2073.2074.2075.2076.2077.2078.2079.2080.2081.2082.2083.2084.2085.2086.2087.2088.2089.2090.2091.2092.2093.2094.2095.2096.2097.2098.2099.2100.2101.2102.2103.2104.2105.2106.2107.2108.2109.2110.2111.2112.2113.2114.2115.2116.2117.2118.2119.2120.2121.2122.2123.2124.2125.2126.2127.2128.2129.2130.2131.2132.2133.2134.2135.2136.2137.2138.2139.2140.2141.2142.2143.2144.2145.2146.2147.2148.2149.2150.2151.2152.2153.2154.2155.2156.2157.2158.2159.2160.2161.2162.2163.2164.2165.2166.2167.2168.2169.2170.2171.2172.2173.2174.2175.2176.2177.2178.2179.2180.2181.2182.2183.2184.2185.2186.2187.2188.2189.2190.2191.2192.2193.2194.2195.2196.2197.2198.2199.2200.2201.2202.2203.2204.2205.2206.2207.2208.2209.2210.2211.2212.2213.2214.2215.2216.2217.2218.2219.2220.2221.2222.2223.2224.2225.2226.2227.2228.2229.2230.2231.2232.2233.2234.2235.2236.2237.2238.2239.2240.2241.2242.2243.2244.2245.2246.2247.2248.2249.2250.2251.2252.2253.2254.2255.2256.2257.2258.2259.2260.2261.2262.2263.2264.2265.2266.2267.2268.2269.2270.2271.2272.2273.2274.2275.2276.2277.2278.2279.2280.2281.2282.2283.2284.2285.2286.2287.2288.2289.2290.2291.2292.2293.2294.2295.2296.2297.2298.2299.2300.2301.2302.2303.2304.2305.2306.2307.2308.2309.2310.2311.2312.2313.2314.2315.2316.2317.2318.2319.2320.2321.2322.2323.2324.2325.2326.2327.2328.2329.2330.2331.2332.2333.2334.2335.2336.2337.2338.2339.2340.2341.2342.2343.2344.2345.2346.2347.2348.2349.2350.2351.2352.2353.2354.2355.2356.2357.2358.2359.2360.2361.2362.2363.2364.2365.2366.2367.2368.2369.2370.2371.2372.2373.2374.2375.2376.2377.2378.2379.2380.2381.2382.2383.2384.2385.2386.2387.2388.2389.2390.2391.2392.2393.2394.2395.2396.2397.2398.2399.2400.2401.2402.2403.2404.2405.2406.2407.2408.2409.2410.2411.2412.2413.2414.2415.2416.2417.2418.2419.2420.2421.2422.2423.2424.2425.2426.2427.2428.2429.2430.2431.2432.2433.2434.2435.2436.2437.2438.2439.2440.2441.2442.2443.2444.2445.2446.2447.2448.2449.2450.2451.2452.2453.2454.2455.2456.2457.2458.2459.2460.2461.2462.2463.2464.246

場所であった。³⁸

2節：町の長老とは、合法的取引の確認や民事における現代の司法官の役割を行使する権限を与えられていた。³⁹

3節：ナオミの地所の販売について、ここで語られたが、その詳細については何も触れられていない。

5節まで、販売の詳細が伏せられていることが戦略的である。

4節：誰があがなうかという権利の順番をはっきりさせ、この親戚の人が第一の権利を持つことを明らかにしている。

5節：ナオミの地所を買うつもりであっても、同時にモアブの女ルツをも妻として迎えることをこの親戚は予期していなかったであろう。

6節：もしも、この親戚があがない、万が一妻であるルツに息子が生まれると、その子がエリメレク所有の地を嗣ぐ正当な後継者ということになるので、せっかく買い取った土地を再び手放さなければならぬだろう。そんな財産を失う可能性があることを考慮しての決断だったのではないか。土地だけなら、買い取った地所は自分のものになるのだが、それを失う危険を冒したくなかったのであろう。

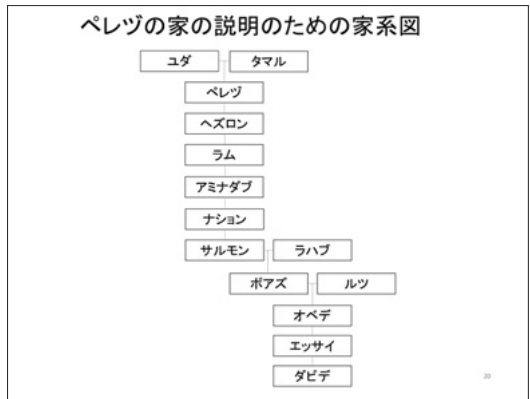
7節：「このくつを脱いで相手の人に渡す」というならわしは最も近い親戚として行動する権利を放棄することを象徴している。

4.8 さてここで親戚の人がボアズにむかい「あなたが自分であがないなさい」と言って、そのくつを脱いだので、
 4.9 ボアズは長老たちとすべの民に言った、「あなたがたはきょう、わたしがエリメレクのすべての物およびキリオンとマロンのすべての物をナオミの手から買った事の証人です。
 4.10 またわたしはマロンの妻であったモアブの女ルツをも買って、わたしの妻としました。これはあの死んだ者の名を起してその嗣業を伝え、死んだ者の名がその一族から、またその郷里の門から断絶しないようにするためです。きょうあなたがたはその証人です。
 4.11 すると門にいたすべての民と長老たちは言った、「わたしたちは証人です。どうぞ、主がああなたの家にはいる女を、イスラエルの家をたてたらケレとレアのふたりのようにされませう。どうぞ、あなたがエフラタで産を得、ベツレヘムで名を揚げられませうに。
 4.12 ところで、主がこの若い女によってあなたに賜わった子供により、あなたの家が、かのタマルがユダに産んだベレツの家のようになりますように。」

9～10節：ボアズはゴエルとして、地所のあがないと、ルツとの結婚において、完全な役割を果たすことが出来、そうすることを望んでいることが読み取れる。

11節：「イスラエルの家をたてたラケルとレアのふたりのように」。彼女らはヤコブの2人の妻である。彼女らは、イスラエルの息子達の生みの母であり、また、レアの侍女であるジルバやラケルの侍女であるビルハを介して、イスラエル民族の祖先の母である。

12節：下の図は、ずっと以前に、ユダはベレツの父となったことを示す。なぜならオナンが近親血縁者として義務を果たすことを拒否したからである（レビラート婚と同じ事をタマルにするようにユダはオナンに命じたが、オナンは否定した）。⁴⁰ ベレツは子沢山の子孫の象徴となった。⁴¹ 今、同様にボアズはオベデの父となろうとしている。なぜならその親戚の者がレビラート婚の義務を果たすことを拒否したからである。このようにして、救い主の家系は人間側の失敗にもかかわらず、維持されてきたことが分かる。⁴²



4.13 こうしてボアズはルツをめぐって妻とし、彼女のヒソコに男の子を産んだ。主は彼女をみごもらせられたので、彼女はひとりの子を産んだ。
 4.14 そのとき、女たちはナオミに言った、「主はほむべきかな、主はあなたを見捨てずに、きょう、あなたにひとり近親をお授けになりました。どうぞ、その子の名がイスラエルのうちに高く揚げられますように。」
 4.15 彼はあなたを新しいのちを新にし、あなたの老年を養う者となるでしょう。あなたを愛するあなたの嫁、七人のむすこにもまさる彼女が産んだのですから。
 4.16 さて、ナオミはその子をとり、さころに置いて、養い育てた。
 4.17 近所の女たちは「オミに男の子が生れたと言って、彼に名をつけ、その名をオベデと呼んだ。彼はダビデの父であるエッサイの父となった。」
 4.18 さてベレツの子孫は次のとおりである。ベレツからツロロンが生れ、
 4.19 ツロロンからラムが生れ、ラムからアミナダブが生れ、
 4.20 アミナダブからナションが生れ、ナションからサルモンが生れ、
 4.21 サルモンからボアズが生れ、ボアズからオベデが生れ、
 4.22 オベデからエッサイが生れ、エッサイからダビデが生れた。

13節：「主は彼女をみごもらせられたので、彼女はひとりの男の子を産んだ」と書かれている。ルツ記

に関するコメントリーの中では、表立って、神が〜したという記述がないことがルツ記の特徴であると指摘するものもあるが、この節では、主が彼女をみごもらせられたという記述がある。旧約聖書の幾つかの箇所には、サラ、リベカ、レア、ラケル、ハンナ、エリザベツは、主によって子供が与えられたことが書かれている。子供の誕生も主の主権の中にあることが読み取れる。

14～15節：ナオミに対する神の聖約の愛の成就を私たちはほめたたえた。嫁であるルツは7人のむすこ以上の存在であった。その男の子はナオミに対する生き甲斐となり、老後を支えてくれるであろうと、女たちが語っている。

17節：オベデとは「仕える者」という意味である。ここでこの名前を誰が付けたのか。近所の女たちであり、両親ではない。近所の婦人たちの役割は大きかったように見える。

16～17節：実際のところ、男の孫オベデが、ナオミの息子となった。こうして「ナオミの物語」のハッピーエンドが示されている。一方では、ボアズの妻となったルツに関する記述がここにはないことが興味深い。

18～22節：ルツ記を締め括る系図が記載されている。ペレヅの家の説明のための家系図を参照すること。この系図はペレヅから始まっている。なぜ、ペレヅから始まる家系が書かれているのだろうか。ペレヅの家は、子沢山の象徴として12節で書かれているので、その関連で、ペレヅから系図が示されているのではないか。ペレヅはユダとタマルの間に生まれた子供であり、この系図にはタマルの名前がでていないが、ルツのように、タマルは思わぬ形でダビデの先祖となったことが思い起こされる箇所である。

ルツ記に至る旧約聖書の流れ

創世記 2つの区分で、前半は天地創造、人間の墮落、洪水、離散(Dispersion)、後半は、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフの生涯を描いている

出エジプト記 ヨセフの死後から、モーセの曠野の建立に至るまでのイスラエル民族の歴史

シナイの曠野の放逐から、律法の授与に関する説明もある

レビ記 祭司の律法に関する事という内容、歴史的事項はほとんどない、イスラエル民族が、宗教的純粋性を保持することができるように、全ての異邦人の影響から分離することが強調されている。

民数記 モアブの地に到着するまでのシナイの曠野の放逐を記録した出エジプト記の続編である。この書の最後はここで記録された民衆の2回の人口調査から誕生している。

申命記 民衆記の続き。ヨルダン川を渡る前のモアブの地におけるモーセの3つの演説と2つの詩がnarratedされる。この中にはナオミが遺棄に与えられた。

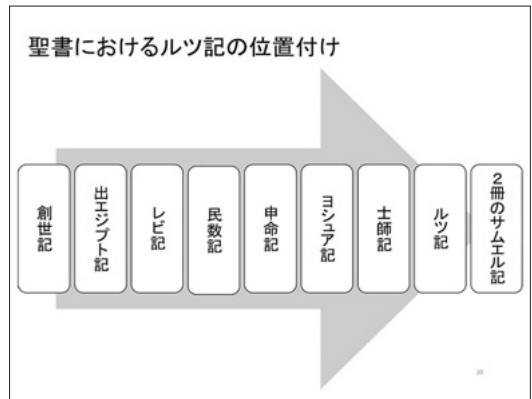
ヨシュア記 モーセの継承者であるヨシュアの物語を告げている。モーセの死後、約束の地にイスラエル民族を導いたのはほかならぬヨシュアである。カナン地の征服とイスラエルの十二部族による土地の分割のnarrativeでもある。

士師記 様々なイスラエルの支配者、すなわち士師たちの、カナンの地所有から、サムエルの時代に至るまでの状況timesを告げている。

ルツ記 モアブ人であるルツと地であるナオミの話を告げている。二人の婦人はナオミの母国であるユダに帰還する。そしてそこで、外国人であるルツはボアズと結婚する。ルツはイエスの先祖であるダビデのそうそぼ(曾祖母great grandmother)であった。

第1サムエル記と第2サムエル記 当時の道徳と宗教的状況に関する貴重な歴史的資料を含む。サムエルはサウル王の元で分断したイスラエル民族を統合させる助けをした大預言者でありさばりつか。サウルとダビデの統治の歴史も記録されている。

ルツ記に至るまでの流れを知るために、各書の概略をここに示す。⁴³



士師記における人々の自分の目に正しいと思うことを行うという混沌とした時代、2冊のサムエル記における戦争、動乱。この間にルツ記が位置付けられているので、創世記から通読する人々は、ルツ記を読むと、少しホッとするのであろう。神を信じる人たちの美しい敬虔なのどかな田園風景を舞台として物語が繰り上げられているからである。

士師記の時代に起こった大混乱

・「そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた。(士師記17章6節と21章23節)」

- 同性愛による暴行
- 偶像礼拝
- 殺人
- 内乱
- 性的暴行

これらはイスラエルに敵対する者が行った行為ではなく、イスラエル民族が互いにやっていた。それだけ混乱した時代であった。

**ルツ記以前の様相
(士師記の時代におこったことが
どれだけ悲惨だったか)**

・「ギブアの日」

・ベニヤミン族の相続地にあるギブアという町で、恐ろしい罪が行なわれた。数百年後にイスラエルについて預言をしたホセアが、「彼らはギブアの日のように、真底まで堕落した。主は彼らの不義を覚え、その罪を罰する。(ホセア書9章9節)」と

士師記19章12節から20章48節までの内容である。

ルツ記の登場人物の名称

| |
|--------------------|
| エリメレク「神は王」 |
| ナオミ「恵まれている」 |
| マラ「苦々しい」 |
| マフロン「病弱な」 |
| キルヨン「小さくて弱い」 |
| オルパ「うなじ」 |
| ルツ「美しい(優雅な、しとやかな)」 |
| ボアズ「主に力あり」 |

エリメレクとは「(私の) 神は王」という意味である。これは君主国を確立することを否定したギデオンの発言で説明できる。「私はあなたがたを治め

ません。また、私の息子もあなたがたを治めません。主があなた方を治められます。(士師記8章23節)」ギデオンは君主制の確立は主の統治を代替することになるとみなしたのである。イスラエルに対する神の統治が士師記における中心的課題であった。

神がエリメレクの王であるなら、エリメレクの生涯を神が導いていることを信じ続けるべきであったが、飢きんの時に、ベツレヘムを離れるという決断をしてしまった。約束の地よりも、外国の地に希望があるように見えたからであろう。

エリメレクの妻はナオミである。恵まれているとか好意を持たれているという意味である。ところが、彼女を取り巻く環境が変化したときに、彼女は「私をナオミと呼ばないで、マラと呼んでください。全能者が私をひどい苦しみに合わせたのですから(ルツ記1章20節の一部)」と発言している。⁴⁴

エリメレクとナオミの間に生まれた子供はマフロン(Mahlon)とキルヨン(Chilion)であった。それぞれの意味は、病弱と小さくて弱いという意味である。なぜこのような名前が付けられたかは聖書からは読み取れない。あくまでも推定であるが、おそらく病弱な子供たちであり、長生きする見込みがなかったせいで、そのような名前が付けられたのかもしれない。古代近東において、人の名前はしばしば叙述的であったという。⁴⁵ この2人は話の途中で死んでいる。

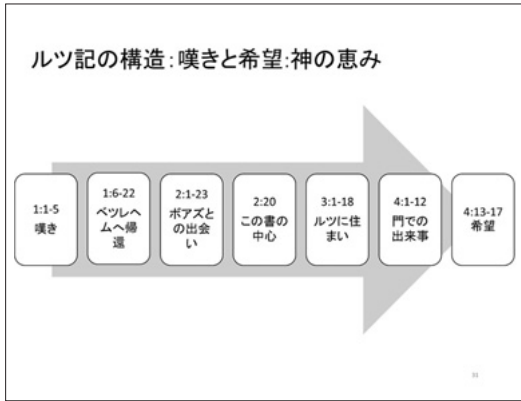
オルパの名前の意味はうなじであるが、うなじのこわいという意味合いがある。これは牛がくびきをかけられるのを嫌って抵抗する表現である。それが「首がこわばる」「強情」「頑固」「手に負えない」様子を表している。神の言うことに耳を傾けず、心を頑なにするという意味に繋がっている。実際、オルパは、神の民に加わる機会があったが、それを否定する行動を取ってしまった。

ルツの名前はこのルツ記全体を通して読むと、ルツがなぜ美しい、優雅、しとやかであるかが分かる。

ボアズは、外見的にはこの話のヒーローである。しかし、この名前が意味することは、「主に力がある」ということであり、人間に力があるという意味ではない。ルツ記におけるボアズの意義はイエス・

キリストがどんなお方であるかを予表することである。

いずれにせよ、それぞれの名前の意味を理解しておく、ルツ記をよく理解する助けとなる。



飢餓、死、喪失から始まった物語に対して、実りある終結をもたらす神の持続的な慈悲がルツ記に現れている。出発したところは、2人のやもめであった。現代日本のような社会福祉制度はなかった。やもめは一体どうやって生活すればよかったのだろうか。奴隷になって自分を売るとか、落穂拾いをする事しかなかった。このような生活は安全と平和とは程遠い生活である。この書の名前はルツ記であるが、もう一人のやもめであるナオミがこの書の名前になっても、何ら遜色がない。

2章20節はこの書を中心である。この節後半のこのナオミの言葉を聞くと、心が震えると思う。「その方は私たちの近親者で、しかも買い戻しの権利のある私たちの親類のひとりです。」これは救い主イエス・キリストを予表する言葉である。

| アブラハムの時代 | ルツの時代 |
|------------------|--------------------|
| アブラハムとモアブの関係: | モアブとユダの関係: |
| おいのロト | エリメレクとナオミ |
| 食糧不足(牧草地不足) | 飢饉 |
| ロトはソドムに住む | モアブに移住 |
| ロトは妻と2人の義理の息子を失う | ナオミは夫と2人の息子を失う |
| 男やもめと2人のやもめ | 3人のやもめ |
| 近親相姦 | *レビレート婚 |
| モアブとアモン | オベデ; エッサイの父; ダビデの父 |

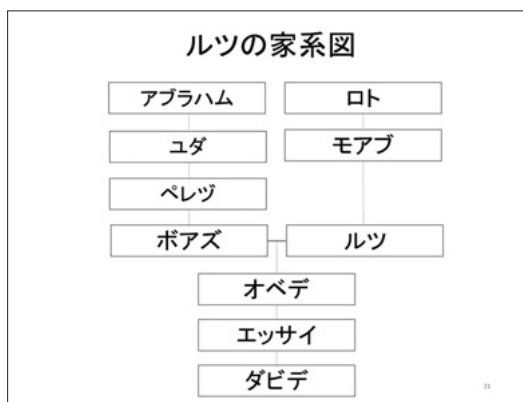
*子がなくて夫と死別した妻は、血筋を絶やさないために夫の兄弟と結婚するという慣習

この図は、アブラハムの時代とルツの時代のそれぞれの聖書の登場人物の行動を対照させたものである。この図から読み取れることは、信仰の父と言われるアブラハムの道、そして信仰の道から外れた道を歩んだロトとその子孫たちも、モアブ人であるルツが、神の家族に戻ることを示している。つまり、救いの道は、本来の神の民のみならず、全ての人々に開かれていることが示唆されている。

まず、アブラハムの時代におけるアブラハムとモアブの関係について見ていこう。アブラハムとその甥のロトは共に旅を続けていた。しかし、アブラハムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いが起こった。その原因は、彼らは大量の家畜を飼っていたので、食糧不足(あるいは牧草地不足)が起きていたことである。それを避けるために、彼らは別々の所に住むことになった。その時に、アブラハムは謙っていた人なので、ロトがどこに住むかを先に決めさせた。ロトは、自分の目で見、ともてよさそうな所を選択し、ロトはソドムの近隣の地に住んだ。一方、アブラハムはカナンに地に住んだのである。ソドムとゴモラの地は、きわめて重い罪があり、神によって滅ぼされることが預言されていた。そうであっても、ロト一家は罪の世界から脱出することに躊躇があったのであろう。2人の娘の婿は脱出しようとしなかった。ロトの妻は振り返ってはならないと警告されていたのに、振り返り、脱出できなかった。結局、滅びの中から脱出できたのは3人であったが、全て配偶者を失い、3人のやもめとなった。長女がロトに酒を飲ませて、ロトが気

が付かない間に性交し、妊娠した。そして長女とロトの間から生まれた子がモアブであり、モアブ人の先祖となった。同様なことを次女も行い、次女も妊娠した。そして、次女とロトの間で生まれた男の子は、ベン・アミと名付けられ、この人がアモン人の先祖となった。

次にルツの時代におけるモアブとユダの関係を見ていこう。エリメレクとナオミはユダ部族でベツレヘムの出身である。⁴⁶ 彼らはベツレヘムにおける先祖代々の財産権を持っていたが、彼らは飢きんから逃れるために、モアブに移住した。死の原因は不明であるが、ナオミの夫であるエリメレクは死に、ナオミの息子2人も死亡し、結局3人のやもめが残された。配偶者を失い、レビレート婚と土地の取り戻しのいう2つの法的慣習がなければ、先祖伝来の財産を取り戻すことができなかった。やもめの一人であるオルパはモアブ人の地に戻っていったが、ルツとナオミは神の道を歩み、ボアズとのレビレート婚によって、失われたものを取り戻した。ボアズとルツの間に生まれた子がオベデ、オベデの子はエッサイ、エッサイの子はダビデである。この家系からイエス・キリストが登場することは言うまでもないことである。



上の家系図は、アブラハムを神の民とする家系と、神から離れた歩みをしていたモアブ人の家系は、ボアズとルツの婚姻関係によって、神の民の家系に組み入れられたことが示される。予表していることは、本来の神の民ではないいわゆる異邦人も、贖われて神の民とされるということである。



上の図は新約聖書のマタイの福音書1章である。ボアズはサルモンと異邦人であったラハブの間から生まれ、ボアズとルツの間からオベデが生まれ、オベデからエッサイが生まれ、エッサイからダビデが誕生したことが記載され、そしてこの家系を通じて、イエス・キリストが生誕されたことが分かる。イエス・キリストはヨセフの婚約者マリアが聖霊によって身ごもって、誕生された。イエス・キリストはダビデの末裔といわれるが、イスラエル人以外の血も交じっている。それは、系図の上のことであり、ダビデの子孫にあたるヨセフ（マリアの夫）が戸籍上の父親である。

ダビデ王の家系からイエス・キリストが登場するのであるが、神の民と異邦人が結合することによって、最終的にすべての人々の救い主が来られることを意味している。

ルツ記が教えること(1)

•改宗とは？

- 人は改宗すると、どうなるかという実態をルツが示す: 次のスライド
- 違う生き方をする事、違う考え方を持つこと
 - ナオミに対する2つの対応(1章14節):
 - オルパは別れの口づけ
 - ルツは信仰を失わなかった

ルツ記から、我々は一体何を学ぶことができるか、考えてみたい。最初に、改宗とは何かについて学ぶ。改宗とは、考え方や生き方の変化である。そ

してルツ記1章14節を見ると、2人のやもめの行動の違いが、改宗による行動がどんなものであるかを教えている。「彼女たちはまた声をあげて泣き、オルバはしゅうとめに別れの口づけをしたが、ルツは彼女にすがりついていた」と書かれている。2人とも泣いていたが、その後の行動が異なる。オルバは改宗しないので別れの口づけをしたが、ルツは、ナオミのところにとどまった。つまり、信仰を失わなかったことが読み取れる。

ルツの改宗(ルツ記1章14～16節)

彼女たちはまた声をあげて泣き、オルバはしゅうとめに分かれの口づけをしたが、ルツは彼女にすがりついていた。ナオミは言った。「ご覧なさい。あなたの弟嫁は、自分の民とその神のところへ帰って行きました。あなたも弟嫁にならなくて帰らなさい。」ルツは言った。「あなたを捨て、あなたから別れて帰るように、私にしむけないでください。あなたの行かれる所へ私も行き、あなたの住まれる所に私も住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」

ナオミはルツに向かって、あなたも弟嫁にならなくて、あなたの民とその神のところへ帰らなさいと語っている。この時のナオミは正にマラであり、心に苦味があったので、ナオミはエホバではなく、ケモシュのところに行くように勧めている。昔の古い生き方を再開せよというわけだ。これは福音伝道者とは反対の立場を取っている。罪の世界に戻れと言うことと同じであるから。

新生したルツ

あなたを捨てて、あなたから別れて帰るように、私にしむけないでください。

あなたの行かれる所へ私も行き、

あなたの住まれる所に私も住みます。

あなたの民は私の民、

あなたの神は私の神です。

あなたの死なれる所で、私は死に

もし死によっても私があなたから離れるようなことがあったら、主が幾重にも私を罰してくださいように。

ルツ記1章16,17節は、改宗すると、どうなるか

を描写している。⁴⁷ 聖書の文脈ではルツがナオミに対して語っているが、同時に、これは神に対するいわゆる信仰告白でもある。古い自分の生き方に戻るように言わないで欲しい。そして、これ以上、今まで住み慣れたところにとどまり続けることなく、どんな生活環境であっても、そこで住みます。私はモアブ人だけれど、喜んで、神の民の様式で生きて行きます。私は変わり、古い自分をすべて捨てます。ケモシュを捨てます。そして全能の神に仕えます。生涯神と共に過ごします。そしてどれだけ自分が真剣に告白しているかを証明するために、神から離れるようなことがあれば、自分を罰して欲しいと宣言している。纏めると、改宗とは、生涯通して神に従順し続けることを意味している。

2人のやもめの生活環境とは一体どんなものであったらうか。ナオミは高齢であるから、再婚は難しかったであろうし、ものごいをするか、身売りをして奴隷になるか。いずれにせよ、彼らの未来はひどく悲観的なものであったに違いない。

ルツ記の教えること(2)

・ボアズ: 血縁関係にある贖い主 (kinsman-redeemer)

・ヘブル語でゴエル

・贖い主の責任とは:

1. 必要を満たすために、売り払った土地を買い戻すこと
2. 主に捧げた物を買戻すこと
3. 奴隷として売られた人を自由にすること
4. 殺された血縁者のかたきを討つこと(法の下に裁かせること)
5. 子供のない未亡人と結婚し、家名を絶えないようにする

登場人物のボアズは血縁関係にある贖い主であるが、ボアズは、その後地上に降られたイエス・キリストを予表(前もって、イエス・キリストがどんな方であることを示すこと)している。

ボアズはゴエルとして、1と5の責任を果たすこととなる。

イエス・キリストとボアズの共通点：

**彼らは血縁関係にある贖い主
(kinsman-redeemer)**

- ボアズはキリストによる人間の贖いを予表している
- 神様(キリスト)が人間の体を持って地上に来て下さった
 - 血縁関係のある人間の贖い主として、私たちが贖うために
- 血縁関係にある贖い主は2つの事柄が必要だった
 - 贖う手段を持っていること(イエス・キリストは唯一人の罪を赦す権威を持つ)
 - 喜んで贖う意思があること(イエス・キリストは誰であつても罪を悔い改める者を赦し、イエス・キリストを贖い主、救い主として受け入れる者を神の民に加える)

Kinsman-redeemer とは、血縁関係を持つのみならず、贖う手段を持ち、喜んで贖う意思を持っている。この3つの特徴はイエス・キリストとボアズの共通点である。

| 血縁関係にある贖い主 | |
|------------------|--|
| 旧約聖書における 必要条件 | キリストによる成就 |
| 1. 血縁関係 | ガラテヤ人への手紙 4章 4, 5節, ヘブル人への手紙 2章 16, 17節 |
| 2. 必要な資源 | 第一コリント人への手紙 6章 20節, 第一ペテロの手紙 1章 18, 19節 |
| 3. 喜んであがなう 意思 | ヨハネによる福音書 10章 15~18節, 第一ヨハネの手紙 3章 16節 |

ボアズはキリストによる人間の贖いを予表しているが、それが成就したことを上の表が示す。

ルツ記の教えること(3)

• 人生の危機に対する様々な反応:

| オルパ | ナオミ | ルツ |
|---------------------|-------------|------------------------------|
| • 昔の古い生活様式(罪の世界)に戻る | • 辛くなった(マラ) | • 信仰を持って前進した(将来どうなるか分からないまま) |

人生には困難や危機がある。3人の婦人は同じ状況に置かれ、彼女らの将来は陰鬱であった。しかし、3人の人生の危機の対する対応は全て違って

た。オルパの対応は、出エジプト記の荒野における神の民の対応でもあった。「エジプト(罪の世界)に帰ろう」と。ナオミは、人生が厳しくなってきたら、苦々しい気持ちになった。悲観的になり、神がひどい苦しみに合わせたと嘆いた。もはや以前のナオミ(恵まれている)ではないと、不信仰な状態になった。ルツの対応は前者2人の対応と全く違った。苦々しく思ったり、怒ったり、古い世界に戻ろうとすることなく、人生において前進するという意思決定をした。つまり、危機に対して、信仰を持って対応した。

信仰とは目に見えないものを確信することである。将来どうなるか分からないが、信仰によって前進した。全ての人の上に、厳しい状況が起こりうる。

人生には避けることのできない困難(別れ、苦しみ、悲しみ)が誰にでもある

- 人間は困難という状況を変えることはできないが、
- 困難に対する人間の反応を変えることはできる。
 - オルパ: 昔の古い自分に戻る
 - ナオミ: 辛くなる
 - ルツ: 将来どうなるか分からないけれど、信仰を持って前進した

困難に直面した時、信仰を持って前進することが正しい選択であることは言うまでもない。なぜなら、第一コリント人への手紙 10章 13節には次のように書かれている。「あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。」

ルツ記の教えること(4)

- **神の導きとは？**
 - ルツ記では「神が～した」と神が働いたことが文字で記載されていない
 - 超自然的な手段によらない
 - 一步一步ずつなされる意思決定を通じて
 - 「小さなものに恵まれるのは大きなものをゆだねられる(ルカの福音書16章10節)
- **ルツは仕事を担う責任があった**
 - 結と自分が生きていくために糧を得る必要があった。
 - 当時、やもめが生きていく方法といえば、再婚するか、衣食になるか、落穂拾いであった。
 - 落穂拾いは、社会的弱者の立場であり、使用人たちから性的暴行を受ける危険さえあった。
- **ルツは血縁関係にある贖い主(ボアズ)に出会った**
 - 失ったもの以上のものを回復した(贖われた)
 - 夫を与えられ、子供が与えられた(ナオミにとっては孫が与えられた)
 - ダビデの家系、イエス・キリストの家系に入れられた

ルツ記の教えること(5)

- **神の大きな恵みを異邦人(例えば、ルツ、ラハブ)に示す**
 - 異邦人は神が必要であることにしばしば気が付いている
 - ラハブはジェリコの町の住人であったが、イスラエルの神を信じるようになった (ヘブル人への手紙11章31節)
- **収穫の間に、ルツの人生の出来事が起こった**
 - 収穫(落穂拾い)の時に、ルツは贖われたこと
 - 贖いと収穫はしばしば同時に起こる
 - 収穫とは救い(罪からの贖い)と同じような意味で聖書では書かれている

神は蔑まれた国々に対してさえも救いの御手を差し伸べている。ラハブはエリコの町の売春婦であった(ヨシュア記2章2節)。そうであっても救われた。救いには過去がなんであろうと関係ない。

ルツの特別な状況

- **ルツはモアブ人**
 - モアブ人は神の民イスラエルに対してひどいことをした
- **アモン人とモアブ人は主の集會に加わってはならない。その十代目の子孫さえ、決して、主の集會に、はいることばできない。(申命記23章3節)**

ルツはモアブ人であり、モアブ人が拝んでいたものはケモシュという偶像であった。自分の願いを叶えてもらうためには、自分の子を全焼(燔祭)のい

けにえとして捧げさせることがあった。聖書にはそのことが次のように書かれている。「モアブの王は戦いがあまりに激しく、当りがたいのを見て、つるぎを抜く者七百人を率い、エドムの王の所に突き入ろうとしたが、果さなかったので、自分の位を継ぐべきその長子をとって城壁の上で燔祭としてささげた。その時イスラエルに大いなる憤りが臨んだので、彼らは彼をすてて自分の国に帰った(第Ⅱ列王記3章26、27節)」。

士師記の時代においては、モアブ人はイスラエルを攻めて、なつめやしの町と言われるエリコまで占領した(士師記3章12、13節)。それで、イスラエルはモアブの王に18年間仕えた。その後、イスラエル人エフデが謁見中にモアブのエグロン王を殺し、さらにエフデが中心となり、約1万人のモアブ人を倒した。このようにしてモアブはイスラエルに征服され、80年間穏やかであった(士師記3章14～30節)。この士師記の時代に、エリメレク一家がモアブに移住し、ルツ記の話が開始されたのである。さらにこの時代においては、イスラエルはケモシュを含めたモアブの神々を拝むようになった(士師記10章6節、民数記21章29節)。偶像礼拝に陥ったイスラエルの民はサムエルの時代までモアブの王、等によって苦しみを受けた(第Ⅰサムエル記12章9～12節)。このようにモアブとイスラエルの民の間には緊張があった。

モアブ人は幕屋で主を礼拝することを許されなかった。なぜなら、イスラエルの民が出エジプトをする時に、神の民がモアブ人の土地を通ることを妨げたからである。

モアブ人とはロトの娘たち2人とロトの子孫のことである。酩酊の中の近親姦姦によって誕生した彼らは偶像礼拝の国民となり、神の民イスラエルの敵となった。⁴⁸

〈参考文献〉

Barker, K. et al. *The NIV Study Bible*. Michigan: Zondervan Bible Publishers. 1985.
 Barton, Bruce B. et al. *Life Application Bible*. Wheaton Illinois: Tyndale House Publishers. 1988.

- Brettler, Marc Zvi. *How to Read the Bible*. Philadelphia: Jewish Publication Society. 2005. p. 7.
- Brodie, Frederick. *The Book of Ruth*. Ottawa Canada: Joseph Loveday. Publisher. 1876.
- Brumbaugh, Martin G. *Juniata Bible lectures a series of twelve lectures, mostly on the Book of Ruth, delivered to the students of the Bible session of Juniata College, Huntingdon, Pa., February, 1897*. Philadelphia: Avil printing co. 1897.
- Cox, Samuel. *The Book of Ruth*. London: The Religious Tract Society. (出版年度不明)
- Dunn, James D. and Eerdmans, G. *Commentary on the Bible*. edited by Rogerson, John W. Grand Rapids, MI: W.B. Eerdmans. 2003. p. 208.
- Hayford, Jack W. et al. *Spirit Filled Life New King James Version*. Nashville, Tennessee: Thomas Nelson Publishers. 1991.
- Hayford, Jack W. *Spirit Filled Life Bible New King James Version* Nashville: Thomas Nelson Publishers. 1991.
- Hayford, Jack W. *The Hayford Bible Handbook*. Nashville, Tennessee: Thomas Nelson, Inc. 1995.
- Hindson, E. et al. *The King James Study Bible*. Second edition. United States of America: Thomas Nelson Publishers. 2013.
- Murphy, Roland E. *Wisdom Literature: Job, Proverbs, Ruth, Canticles, Ecclesiastes, and Esther*. Grand Rapids, MI: W.B. Eerdmans. 1981. p. 88.
- Penniman, Josiah H. *A Book about the English Bible*. New York: Macmillan. 1919. pp. 419-420.
- Stamps, Donald C. et al. *The Full Life Study Bible. King James Version*. Michigan: Zondervan Publishing House. 1992.
- Thompson, Frank Charles. *The Thompson Chain-Reference Bible*. Fifth Improved edition. 1988. Thomas Nelson Publishers. *The Holy Bible Old and New Testaments in the King James Version*. Nashville: Thomas Nelson Publishers. 1976.
- Whitlockm Jr., Luder. et al. *New Geneva Study Bible New King James Version*. Thomas Nelson Publishers. 1995.
- William E. Phipps *Assertive Biblical Women*. Westport, CT.: Greenwood Press. 1992. p. 47.
- Wolfenson, Louis Bernard *The book of Ruth introduction, critically-revised text, critical notes, translation, and explanatory notes*. Baltimore: the University of Chicago Press. 1911.
- Zodhiates, Spiros. *The Hebrew-Greek Key Study Bible New American Standard*. Chattanooga, TN: AMG Publishers. 1990.
- 〈注〉
- 1 スライド上の御言葉は口語訳聖書を使用している。文脈の内容をよりよく理解するために、脚注を追加した。脚注の内容並びに講座の内容は既存の多くの文献や諸研究に依存している。
 - 2 ルツ記に基づく絵画は、『ミレーの落穂拾い』がある。
 - 3 ヤコブの手紙1章19節後半には「だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。」と書かれている。
 - 4 音読すると、脳によいという見解もある。
 - 5 1550年代に印刷業者権編集者が、聖書出版に際して章と節を付けたという説がある。ジュネーブ聖書が章と各章内に節の番号を加えた最初の聖書であるという主張がある。1599 *GENEVA BIBLE*. p.xiii. また、節による聖書の文章の区分についていくつかの見解がある。例えば、Penniman, pp. 419-420を参照せよ。
 - 6 Brettler, pp. 267-8を参照せよ。
 - 7 残りの者とは、主なる神を自らの神として認め、神の律法に従って生き、聖なる者となる者のこと。
 - 8 Zodhiates, p. 1718.
 - 9 エレミヤ書43章13-16節にこのことに関する主の御言葉があるので参照すること。
 - 10 エフラタとはエルサレムの初期の名称である。*The King James Study Bible*. p. 438.
 - 11 Barker, K. et al. p. 365.
 - 12 士師記6章3節-6節。
 - 13 申命記23章3節。
 - 14 結婚とは、新約聖書の文脈で見ると、キリスト教徒(教会)は再臨されるイエス・キリストの花嫁になることである(マタイの福音書25章1-13節)。
 - 15 口語訳聖書は2005年末に著作権保護期間が終了したのを受けてルツ記を全文掲載している。
 - 16 神の働きは人の働きと異なる。イスラエルの最初の王が立てられた時、その王は人々によって選択されたのではなく、神によって選ばれた。そして最初のイスラエルの王になったサウルが王への導きの道に入るきっかけは、サウルの父キシユの雌ろばがいなくなって、それを探しに出かけることであった。(第Iサムエル記9章3節)
 - 17 飢饉とは通常、食糧を参照するが、アモス書では聖書の御言葉の飢饉について語られている(アモス書8章11-12節)。人の肉体を維持していくためには水とパンは大切であることは言うまでもない。しかし、人はパンだけでは生きず、人は主の口から出るすべてのことばによって生きる(申命記8章3節)。
 - 18 キリストを信じて、天国に行くと、次の節のように飢餓はもはやその人にはない。「彼らはもはや、飢えることもなく、渇くこともなく、太陽もどんな炎熱も

- 彼らを打つことはありません。なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。」(黙示録7章16, 17節)
- 19 英語の聖書では、すべて大文字で LORD と表記される場合もある。
- 20 ケモシュとはモアブ人の神である(民数記21章, 29節, エレミヤ書48章7, 13, 46節)。聖書ではこれはモアブの忌むべきケモシュ (the abomination of Moab) と呼ばれている(第一列王記11章7節)。ソロモン王によって、ケモシュ礼拝がイスラエル文化に導入された(第一列王記11章1～8節)。
- 21 申命記23章3節。
- 22 マタイの福音書22章24節でも、レビレート婚が言及されている。それは「もし、ある人が子のないままで死んだなら、その弟は兄の妻をめぐって、兄のために子をもうけなければならない」ということ。日本語では嫁婚という。
- 23 Hayford (1991), p. 389.
- 24 Hindson, p. 439.
- 25 創世記においては、全能なる神という用語は、人々が苦境に立たされて、確かさを必要とするような状況において、特に使われるという。Hayford(1991), p. 28.
- 26 Barton, Bruce B. et al. p. 394.
- 27 Barker, K. et al. p. 366.
- 28 ゴエルとは親戚に相当するヘブライ語であり、基本的な意味は、贖う者ということ。
- 29 レビ記19章9, 10節, 23章22節。
- 30 申命記24章19節。
- 31 創世記2章22節には、神がアダムの妻エバを、アダムの所に連れてこられたという旨の記述がある。
- 32 Hayford (1991), p. 390.
- 33 op. cit. p. 390.
- 34 Barton, Bruce B. et al. p. 390.
- 35 Barker, K. et al. p. 368.
- 36 例えば、イザヤ書9章3節に「刈り入れ時に喜ぶ」という旨が書かれている。
- 37 Whitlockm Jr., Luder. et al. p. 371.
- 38 op. cit. p. 396. 町の門に関する記述は、旧約聖書の以下の箇所を参照すること。第Ⅱサムエル記15章2節, 第Ⅰ歴代誌22章10節, アモス書5章10節。
- 39 Stamps, Donald C. et al. p. 392.
- 40 創世記38章29節。
- 41 荒野での2度目の登録の際、ユダ族の大部分を構成していたのは、ベレツとその二人の息子たちの家族であった(民数記26章: 20～22節)
- 42 ついでながら、ユダとタマルは正式の婚姻関係ではなかった。このことは次の節から分かる。一人がもし、息子の嫁と寝るなら、ふたりは必ず殺されなければならない。彼らは道ならぬことをした。その血の責任は彼らにある(レビ記20章12節)。そして、この罪はマタイの福音書の1章に出てくる家系図を見ると、思い起こさせられる。「ユダに、タマルによってパレスとザラが生まれ、パレスにエスロンが生まれ、エスロンにアラムが生まれ、(マタイの福音書1章3節)」下線は著者による。
- 43 *The Holy Bible Old and New Testaments in the King James Version.* p. 1848から引用。
- 44 ここでは、ナオミは自分でマラと呼んで欲しいというが、聖書では、神によって名前を変えるように命じられていることがある。アブラハムのかつての名前はアブラム、サラのかつての名前はサライ、イスラエルのかつての名前はヤコブであった。
- 45 Barker, K. et al. p. 366. 古代近東とは現代の中近東内におおよそ相当する地域における初期の文明を言及する。
- 46 ルツ記の1章1節にユダ族であり、ベツレヘムの住人であることが書かれている。
- 47 新生とは、大まかな意味としては、救われることをさす。
- 48 創世記19章33～37節。